



2024年3月14日

## 発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

京丹後に棲む  
絶滅危惧種のハヤブサ

## 米軍Xバンドレーダー基地反対 京都連絡会総会報告

塚本



第10回 米軍Xバンドレーダー基地反対  
京都連絡会「総会」&近畿連絡会「旗開き」



総会挨拶 瀧川共同代表



総括・方針提起 池田事務局長



会場からの質問・意見



2月25日、米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会第10回総会がおこなわれ、続いて近畿連絡会の2024年旗開きもおこなわれた。京都連絡会総会では、去年は6月の近畿連絡会主催の現地集会在、コロナ禍を経て4年ぶりにおこなわれたことや、11月の「いらんちゃフェスタ」と直前の基地前抗議行動も従来通りにおこなわれたことが報告された。今後に向けては、会員拡大の強化の確認のうえで、今まで平日の昼間におこなわれていた運営委員会を昼間に働く運営委員が出席しやすいように時間帯を夕方以降に変更することを確認した。また規約の一部改定をおこない、(退会)に関する条項を追加して、会員は届け出により任意に退会できることと、2年以上続けて年会費を納入しない場合は退会したもののみならずこととした。これにより総会の成立条件にも関わる会員定数を、会費納入実態とあわせるようにした。

近畿連絡会の旗開きでは、冒頭に昨年12月に亡くなられた近畿連絡会代表世話人の中北龍太郎さんを偲んで黙とうをした。また京丹後現地から駆けつけてもらった京丹后市議の永井友昭さんに、現地の状況を話してもらい、また4月の市議選に向けての抱負と決意を語ってもらった。



近畿旗開き 大湾代表世話人挨拶・参加者交流



京丹后市議 永井友昭さん



関西生コンの西山さん

### No X-Band 京都連絡会 3月例会

3月28日(木)18:30～  
ひとまち交流館

安全保障から見た  
「イスラエル・パレスチナ」  
大湾宗則さん



反原発の木原さん

# 2/18 陸自宮古島駐屯地創立5周年記念行事反対行動 報告

瀧川



基地正面の横断幕 共同代表中里成繁さん所有の畑前



基地前抗議行動



保良訓練場の弾薬庫

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会からの要請に応じて、宮古島駐屯地5周年記念行事反対行動に参加しました。

2月17日昼頃、下地島空港に到着。昼食後、翌日の準備を手伝って欲しいとのことで、宮古島駐屯地前の仲里成繁さんの畑に横断幕やのぼり旗を取り付けました。横断幕には宮古島の軍事基地化の現状とそれに反対するミサイル基地いらない住民連絡会の主張と意思が表現されています。

「宮古島を戦場にしないで陸上自衛隊（米軍も共同で使う）ミサイル基地いらない。」琉球弧の島々にミサイル基地いらない！自衛隊も米軍も」「子どもたちに平和な宮古島を残そうミサイル基地いらない」「米軍と自衛隊の共同訓練に抗議!!」「戦争につながる電子線部隊配備反対!」「下地島空港・宮古空港の軍事利用反対 沖縄の宝『屋良覚書』を守れ!」

これら横断幕に対抗して、自衛隊を応援する横断幕も駐屯地近くの道路に掲げられていました。「この国の平和のために、がんばれ自衛隊！私たちは自衛隊を応援します。宮古地区自衛隊協力会」横断幕取り付け作業終了後、準天頂衛星の受信アンテナ施設と保良訓練場（弾薬庫と射撃訓練場）を清水さんの案内で見学しました。大型弾薬庫の2棟がすでに完成しており、3棟目の建設が進められていました。弾薬庫のすぐそばには保良の集落があります。

2月18日、創立5周年記念行事には来賓や自衛隊員の家族などが子供を連れて参加していました。駐屯地の中で行われる行事でしたが、フェンスには木の葉を模した偽装網が張られ中の様子を見えづらくしていました。私たちは駐屯地正門前で抗議行動を行い、フェンスのそば



に背の高い脚立を据え付けて基地の中にスピーカーを向けて抗議の声を届けたり、写真撮影をしたりしました。記念行事では300輦以上ある車のパレードがおこなわれ、銃を持ったテロリスト(?)を装甲車や銃で制圧する披露劇では空砲が打ち鳴らされました。私たちはフェンスの外からシュプレヒコールを上げ続けた。治安訓練やめろ！市民殺戮訓練やめろ！戦争訓練やめろ！子どもの前で戦争訓練をするな！戦争訓練を子どもに見せるな！ミサイル基地いらない！弾薬庫いらない！射撃場を撤去しろ！基地の中で飲酒してお祭り騒ぎをやめろ！能登の被災地に思いを馳せろ！ウクライナ・パレスチナに思いを馳せろ！軍事訓練やめろ！戦争訓練やめろ！

昼頃、行事は終わり、抗議行動を終えて散会したが、「駐屯地の中から警察のパトカーから大音量のサイレン音と子どもの声が聞こえる、問題だ」ということで散会した抗議行動参加者に召集がかかり、再度駐屯地前に集まりました。大音量発生と警察が基地行事に参加した経緯について基地司令官に説明を求め、その後、宮古島警察署に抗議と説明を求めに訪れました。夕方には、宮古島では人通りの多いツタヤのある交差点でイスラエルのパレスチナ攻撃に抗議するろうそくを掲げたスタンディングに合流しました。今回の宮古島での創立5周年記念行事反対行動は、少人数の抗議行動ではあったが、安保3文書で明らかにされた「敵基地攻撃能力の保有」、「5年で43兆円の大軍拡」と日本が戦争国家へと突き進む中で、急速に進む先島諸島での軍事要塞化にしっかりと反撃していくことの大切さを示してくれました。同時に、先島のみならず、沖縄島、奄美、九州、そして全国でのミサイル基地・弾薬庫建設や基地強靱化に各地で反撃し、連帯行動を繋げていかねばとの思いを強くしました。



ミサイルいらない宮古島住民連絡会 共同代表 仲里成繁さん(左)と清水早子さん(右)

# 京丹後現地訪問案内

池田



今回の京丹後訪問日  
4/8 (月)、4/30 (金)  
午前8時30分、鴨川五  
条大橋西詰GS前集合  
\*参加を予定する方は事  
前連絡をお願いします。  
池田090-7108-5508

3月8日の京丹後訪問、事前の天気予報とは違って雨が降ったりやんだりの「うらにし」模様でした。

この日は京丹後市の定例議会の最中で、京丹後市役所前でのアピールとビラ配布を行い、基地対策室に申し入れ書を提出しました。

市役所内では1927年3月7日に発生した北丹後地震に関する写真展示が行われていました。峰山町では家屋の倒壊率98.8%、町民の死亡率は実に24.3%に達したとのこと。同じく大きな被害を受けた網野町の島津でビラを配布している際に震災記念碑を見かけていましたが、当時の状況の深刻さをあらためて思いました。

前日7日の永井友昭さんの一般質問では、土地利用規制法による基地周辺の「特別注視区域」への指定に関して、中山市長は(対象地域の住民を対象に)「住民説明会を行う」と答えたそうです。2月段階の基地対策室からの憂う会等への回答は、国がやらないと言っているのも市としても「考えていない」というものだったので、少しは前進しているとは言えます。しかし、土地利用規制法—「特別注視区域」指定の持つ意味は変わらず、それを含む安保強化・戦争体制づくりに対する反撃を広げていかねばなりません。戦争の被害者にも加害者にもならないためのたたかいを京都市内と京丹後を結んで広げていきましょう。京丹後訪問活動へのご参加を。

永井友昭さんを再び京丹後市議会へ!  
「永井友昭さんを応援する集い」(仮)

永井さん 映像を映して大いに語る  
日時: 4月4日(木) 午後6時30分から  
会場: ひとまち交流館・京都 第5会議室

## 「街なかビラ」の報告と 今後のお知らせ (文責 白井)

### 2024年2月の報告

#### 第166回 2月20日(火) 今熊野商店街 3人

アーケードのある商店街なので小雨が降っていても実施しました。この日は他の活動と重なり、少人数の参加でした。人通りは普段並みでした。

#### <街の人の声>

- 旅行で経が岬に行ってきた。あんなきれいな所に基地があって驚いた(40代?女)
- いくら言ってもどうにもならん。選挙で頑張らんとね(50代?女)
- 辺野古の埋め立てなど止めて、お金も人も全部引き上げて能登の方に救援に行くように言うてよ(60代?女)など。“よう頑張ってるね〜”、“ごころうさん”と言いながらビラを受け取る人に力を貰いました。※2/27(火)は雨のために現地で解散しました。



早咲きの  
「河津さくら」

#### 今後の予定です

#### 第167回 3月14日(木) 堀川三条商店街

集合場所: 市バス「堀川三条」停留所

#### 第168回 3月25日(月) JR「二条駅」周辺

集合場所: JR「二条駅」西口

時間はいずれも11:00~12:00です。

無理のない体調でご参加ください。待っています。

連絡先: 090-5672-1597 (白井)

# 反基地闘争の新たなうねり 労働者・農民・漁民、生産者が立ち上がる



勝連分屯地前 スクラム組んで座り込み

大湾宗則

結成から11年、地元の京丹後に建設された米軍Xバンドレーダー基地撤去の闘いを担いつつ、辺野古新基地や南西諸島への日米安保の基地拡大と闘い、沖縄の人々と連帯して東アジアの平和に必要な国際連帯活動に取り組んできました。結果、未だ京丹後現地に基地反対の住民組織を立ち上げるに至っていません。

「総会」は、政府の「国家安全保障戦略」に対抗する「反戦・反基地・反安保一改憲阻止」の基調の確立と官憲の弾圧と右翼の攻撃に自力で対応出来る実力を備え、現役労働者が中心に「会」を担うための組織改革を断行しました。

「総括と方針」を団結して実践しましょう！

## うねりは生産者の闘いとして拡大！

「白旗掲げてハそ天で争うよりも愛を(戦雲)」でもとても沖縄・日本・世界の未来は拓けない！

### <勝連分屯地、ミサイル搬入をスクラムで阻止>

3月10日、陸自がミサイル搬入するため中城湾港湾東ふ頭第12ゲートから搬出を試みたが住民の阻止行動で南ゲートに迂回して勝連分屯地へ。勝連分屯地前は警備員と自衛隊によるバリケード、これに対して「絶対にここに搬入させない」という参加者の意思が一つになって腕を組み座り込んだ。結果は4台の「かまぼこ」で送り込まれた機動隊によってスクラムはねじ切られ、排除された。しかし、闘いの手ごたえは確かに参加者は共感した。

### <宮古島で陸自基地5周年記念行事抗議>

2/18、ミサイルいらぬ宮古島住民連絡会から「宮古島駐屯地5周年記念行事反対」への行動が呼び掛けられ参加した(本ニュース2P参照)。宮古島基地正面に「住民連絡会」共同代表で農民の仲里成繁さんの畑があり、その畑に基地に向けて反基地のスローガンと共に「安保も米軍基地も自衛隊配備もいらぬ」と認め

た「沖縄の宝・屋良覚書を守れ！」が横断幕に大書されていることに熱烈な連帯を感じた。

「住民連絡会」は、保良の弾薬庫反対だけでなく、千代田の基地建設や下地島空港軍事利用反対も継続して取り組んできた。(三上智恵さん制作の「戦雲」に「住民連絡会」の闘いが無視されていることは反基地闘争内部の分断であり、残念。)

### <石垣島・米軍艦船寄港反対ストライキ>

2024. 3. 11~13 石垣島に米イーグス駆逐艦が寄港、これに対して全日本港湾労働組合沖縄県本部(1000人)は、「我々の職場を軍事利用させない」と11~13日まで全面ストライキを敢行した。市民も寄港と上陸中止を求めて抗議した。

### <佐賀・オスプレイ反対 土地は売らない>

陸自が佐賀空港の敷地内にオスプレイ基地建設を計画。基地の対象土地を漁民の地権者団体が多数決で防衛省に売却した。これに反対するオスプレイ反対住民の会会長・漁師の古賀初次さんは、「(政府の)国策で有明海は死の海になった、(オスプレイ基地のために)土地は売らない、死ぬ気で取り組む」と地権者5人で佐賀地裁へ工事差し止め提訴を行い、133人の呼びかけで支援組織も整った。

### <馬毛島漁民 漁業権放棄は無効訴訟>

馬毛島でも種子島漁協が防衛省に漁業権の一部を放棄しそれと引き換えに22億円の漁業補償に同意したことに對して漁民の濱田純男さんは「漁業権の放棄決議は水産業協同組合法に違反し無効」と主張し、鹿児島地裁に提訴した。

### <対馬…放射性廃棄物の最終処理場受入拒否>

放射性廃棄物の最終処理場として政府に目をつけられた対馬市では、市議会決議で受け入れ要請が決まったが比田勝市長は「漁業で年間168億円、観光で180億円あり、(放射性廃棄物を)受け入れて風評被害で1割損傷すると約34億円の減収、文献調査を受け入れて20億円の交付金ではあがなえない、何より市民や育つ子どもたちの将来を考えた上で議会決議に反対した」と。

勝連分屯地前でスクラムによる実力阻止の座り込みが敢行され、宮古島で農民が、石垣島で労働(者)組合が、馬毛島や佐賀や対馬では漁師が。戦争準備に生産の場を破壊する政府に生産者が反基地・反核の先頭に立ち上がっている。京都でも、京丹後でもこのうねりと共に歩もう！